

平成30年度

デイサービス改善 インセンティブ事業 表彰事業所のご紹介

～岡山市はデイサービス利用者の
状態改善の取組を推進しています～



岡山市
OKAYAMA CITY

❖ デイサービス改善インセンティブ事業とは ❖

岡山市は、平成25年2月に国の「在宅介護総合特区」の認定を受け、総合特区事業のひとつとして「デイサービス改善インセンティブ事業」を実施しています。

この事業は、デイサービス事業所の介護サービスの質を、①ストラクチャー（体制）②プロセス（経過）③アウトカム（成果）の3点から評価することで、事業所の介護サービスの質の向上、利用者の状態像の維持・改善、将来負担の抑制を図るものです。本事業は、平成26年度から実施し、その成果を国に報告してきました。平成30年度の介護報酬改定において、通所介護への心身機能の維持に係るアウトカムを評価する「ADL維持等加算」が創設されるなど、国においても介護サービスの質を評価する取組が進んでいます。

❖ 事業のしくみ ❖

本事業は下記スキーム図のように実施しています。

参加事業所に対して、まず外部研修への参加状況や認知症高齢者の受け入れ状況など、5つの指標で、ストラクチャー・プロセスの評価を行います。指標を達成した事業所には、利用者の状態改善の状況（アウトカム）をバーセルインデックス調査の結果により評価し、上位事業所に奨励金を交付しています。また、DASCモデル事業を併せて行い、認知症の早期発見・早期対応に努めています。



平成30年度表彰式（平成31年3月20日開催）

①

事業参加

岡山市内にあるデイサービス事業所の半数が事業に参加しています。

参加事業所数

| | |
|-----|--------|
| H30 | 144事業所 |
| H29 | 158事業所 |
| H28 | 164事業所 |
| H27 | 153事業所 |
| H26 | 151事業所 |

②

ストラクチャー・プロセス評価

毎年12月時点で下記5つの評価指標について、指標の達成（3つ以上）の可否状況で評価を行います。毎年60～70の事業所が達成しています。

評価指標

| | |
|---|-------------------------|
| 1 | 外部研修への参加状況 |
| | 医療機関との積極的連携（DASCモデル事業） |
| 2 | DASC調査 1回目 → DASC調査 2回目 |
| 3 | 認知症高齢者の受け入れ |
| 4 | 機能訓練指導員の常勤換算人数 |
| 5 | 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 |

③

アウトカム評価

②の評価を達成した事業所について、利用者の方の状態改善の状況を、バーセルインデックス調査の結果で評価します。毎年6月頃と12月頃の2回調査を行い、点数の維持・改善状況を比較します。

バーセルインデックス
1回目調査

半年後

バーセルインデックス
2回目調査

④

表彰

②の評価を達成した事業所を表彰し、事業所名をホームページなどで広く市民に公表します。また、このうち③の評価の上位10事業所には、市長から表彰状と奨励金を交付します。

